



時習 2024 No. 8

嬉野市立嬉野小学校
学校だより
文責 中野 宗利
令和6年 9月10日

◎ヤング川柳 ^{せんりゅう} ^{すてき} 素敵な作品続々!!

西日本新聞が募集している「ヤング川柳」に嬉野小の子どもたちもよく応募をしています。その中で入賞する作品も多く、子どもたちの感性豊かな表現力を感ずることができてとても素敵です。今回は今年度5～8月の入賞作品及び新聞掲載された作品を紹介します。



- 5月 5日 **一席** 耳そうじいつまでひざでできるかな
丸目そうしん (3年)
- 二席** 妹が器用に残すピザの耳 田中菜白 (5年)
- 5月12日 **月間賞特選 一席** この旗で先頭守る朝が来た 小野原りょう (5年)
- 次点 「あっ」だけでとびたつハトにおどろいた いとうりつき (2年)
- 次点 じとじと重い足どり学校へ 伊藤ほたる (6年)
- 5月19日 次点 やったねできなかったまほうつかえたね 村田まいか (4年)
- 5月26日 **佳作** 他人とね比べなくても大丈夫 福嶋由紀 (6年)
- 次点 だれにでもやさしくできる6年生 中野佐保 (6年)
- 次点 ちょ金箱一円玉ではつりあわず 境優人 (5年)
- 6月 2日 **二席** つりかわに手をのばしたよ五年生 小野原りょう (5年)
- 次点 あおいバスわたしをつれてどこいくの もりながまりな (3年)
- 6月 9日 **二席** 雨の日はながぐつたちがよろこぶぞ とみたかりま (3年)
- 6月16日 **三席** コップの中に水族館があるかもね 田中あきら (5年)
- 6月23日 **佳作** あさになりあたまとあしがはんたいだ のぞえいちか (3年)
- 6月30日 次点 ゆめのなかなにかに触れる目が覚める 宮崎祥輝 (5年)
- 7月14日 次点 ぼくたちはセリフをよんでくらしてる 川野志帆 (6年)
- 7月21日 **一席** きゅう食の牛にゅう二杯のみました 横尾 圭 (3年)
- 次点 初マテ貝穴に塩まきさあ出てこい 中村はな (3年)
- 7月29日 **二席** 今年こそ表彰台に乗ってやる 中尾颯華 (6年)
- 佳作** 五年生高学年のなみがきた 溝口詩月 (5年)
- 8月 5日 **佳作** 葉のうらにひみつの近道み一つけた 峰 歩琉斗 (3年)
- 8月18日 **佳作** 撫でたまえそっと背中を向ける君 相良優輝 (6年)
- 8月25日 **月間賞特選 一席** あっ落ちるもうすぐ終わる夏休み 小芦昭人 (6年)
- 次点 太陽が落ちてきちゃうようしよう 床嶋 駈 (5年)

なお、宮地仁美先生をパーソナリティに給食時間に放送されているヤング川柳のコーナーでは入賞作品の作成のエピソードや入賞の喜びなどを伝えてもらっています。子どもたちの豊かな心を感じ、ほっこりする時間になっています。

◎新しい職員紹介 養護助教諭 石橋侑佳 先生

嬉野小学校の規模の学校には、養護助教諭が3か月間配置され、養護教諭の補助をしてもらう制度があります。今年度も探していましたが、やっと見つかり8月26日から勤務いただいています。これまで以上に細やかに子どもたちへの対応ができればと考えています。

◎5年生波戸岬少年自然の家で宿泊学習!!

9月5日(木)～6日(金)の一泊二日で5年生は唐津市鎮西町の波戸岬少年自然の家に宿泊学習に行ってきました。自宅を離れ、お泊りでしたので不安もあったと思いますが、一つ一つの活動をみんな一生懸命に取り組みました。

1日目は野外炊飯に挑戦しました。薪割り、火おこしなど初めてのこともありましたが、指導員さんや先生方の指示をよく聞いて、苦戦しながらもやり遂げることができていました。また、調理については、日頃のお手伝いのお陰からか、てきぱきとできていて、とてもおいしいカレーライスが出来上がりました。美味しすぎて、4～5杯おかわりをした人もいたとか!みんなでしっかりたいらげてくれました。最後の片付けも黙々と取り組んでくれる子どもたちがいて素晴らしいなと思いました。そして、夜のキャンプファイヤーでは、自然と暗闇の中で炎を囲み、みんなが出し物を出して親睦を深めました。ともした4つの火(友情・協力・感謝・勇気)を忘れずにこれからの学校生活を過ごしてほしいと思いました。

2日目は、カッター体験をしました。とても暑い日差しの中で、とても熱く厳しい指導員さんのご指導に涙してしまう子もいましたが、そんな中でも協力しながら「かい」を漕ぎ船を進めることができました。とても貴重な体験となりました。

退所式では、所長さんからの「もう1泊したいですか」の質問に、8割以上の子どもたちが手を挙げていたように見えました。楽しい2日間になってよかったと思いました。



◎佐賀新聞「わかもの」の欄に掲載されました!

今年度2人目の意見文が9月1日付佐賀新聞に掲載されました。掲載されたのは、5年生吉牟田彩夏さん「セルフレジ事件」です。気になった新聞記事について意見文を書いています。

セルフレジ事件

嬉野小5年 吉牟田 あやか

先日、佐賀新聞で「セルフレジで不正精算の疑い」「別商品のバーコード使用」という記事を読みました。悪いことだと分かるはずの大人が、なぜこんなことをしてしまったのだろうと考えました。

わかもの

私もスーパーでセルフレジを使ったことがあります。バーコードをかざして商品を袋に入れて、お金をはらえるので便利です。お店の人のようにスムーズにはできないけど、自分のペースで会計ができるので、買い物での楽しみの一つになっています。

便利な世の中になつて、スーパーやガソリンスタンドなどでもセルフレジが広まっています。そんな中、悪用する人が出てくるのは悲しいことです。せっかく便利な物ができて、悪用することを防ぐためのシステムをさらに考えなくてはならないからです。

お店の人が見ていなくて、ズル(不正)をしてしまうことは、本当に良くないことです。なぜなら、商品の価値に対して、正しいお金をはらわないことは、その商品にたずさわる人たちの生活にも影響するからです。人から見られなくても、正しいことができる人でありたいと思いました。